防犯対策のヒント
特殊詐欺にあわないために

みなさんのちょっとした心がけや工夫次第で犯罪被害にあう危険を少なくすることができます。被害にあわないようにするためにはどうしたらよいのか紹介します。
もし被害にあってしまったら最寄りの警察署と所属の教務係や留学生担当係へ届け出ましょう。困ったことがあればいつでもIRISに相談にきてください。

在宅中

- 来訪者があれば、相手を確認してからドアをあける。1人暮らしと気づかせないよう工夫する
  - ▶洗濯物は外から見えないところに干す
  - ▶カーテンの柄に注意する

ヒント

外出時/外出中

- バッグは車道の反対側にしっかり持つ
- 夜間は暗く人気のない道を通らない
- ヘッドホンや歩きスマホは危険

ヒント 防犯ブザーの携帯(100円ショップで購入できます)

外出中/自転車に乗る際

- 自転車・オートバイ・自動車などは駐輪・駐車場に停め必ず鍵をかける
- 自転車の防犯登録は法律で義務づけられています
- 自転車の前カゴなどにはひったくり防止カバーやネットを装着しましょう

帰宅時

- 周囲に人がいないことを確認してから玄関ドアを開ける
- ドアを開けたら素早く家の中に入り必ず施錠

特殊詐欺に注意！！

特殊詐欺の手口

警察官、市役所、入管の職員などを装い、電話や訪問で接触してくる

→ 偽の警察手帳や逮捕状を見せて不安にさせ、「あなたの口座が犯罪に使われている」など言葉巧みに近づいてくる

→ 口座の調査、資金洗浄の確認などと言い、キャッシュカードの預かりや指定口座への送金を指示する

被害にあわないためには

- おかしいと思ったらすぐ電話を切る、家にいれない、家族や大学、警察に連絡
- 警察官や市役所の職員がキャッシュカードや通帳を預かろうとする、暗証番号を聞き出し送金を要求することはありません
- 安易に個人情報をSNS等で公開しない、特殊詐欺に関する情報は日ごろから注意を払うなど気を付ける
  - 個人的に、または様々なグループ内で共有している個人情報(メンバーの名前、電話番号、メールアドレスなどの連絡先)を勝手に第三者へ教えない